

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

法

規

〔1〕 無線局の免許人は、電波の型式及び周波数の指定の変更を受けようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務大臣に免許状を提出し、訂正を受ける。
- 2 電波の型式及び周波数の指定の変更を総務大臣に届け出る。
- 3 電波の型式及び周波数の指定の変更を総務大臣に申請する。
- 4 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 2 電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
- 3 刑法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられたとき。
- 4 日本の国籍を有しない者となったとき。

〔2〕 次の記述は、船舶に施設する無線設備について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶の航海船橋に通常設置する無線設備には、そのきょう筐体の見やすい箇所に、当該設備の発する磁界が  に障害を与えない最小の距離を明示しなければならない。

- 1 自動操舵装置の機能
- 2 他の電氣的設備の機能
- 3 自動レーダープロットング機能
- 4 磁気羅針儀の機能

〔5〕 無線局の免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 2 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 3 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。
- 4 総務大臣に届け出て、無線局の検査を受ける。

〔3〕 無線従事者は、免許証を失ったためにその再交付を受けた後、失った免許証を発見したときはどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 速やかに発見した免許証を廃棄する。
- 2 発見した日から10日以内に発見した免許証を総務大臣に返納する。
- 3 発見した日から10日以内にその旨を総務大臣に届け出る。
- 4 発見した日から10日以内に再交付を受けた免許証を総務大臣に返納する。

〔6〕 次の記述は、業務書類等の備付けについて述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線局には、 及び無線業務日誌、その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。ただし、総務省令で定める無線局については、これらの全部又は一部の備付けを省略することができる。

- 1 無線局の免許の申請書の写し
- 2 無線設備等の点検実施報告書の写し
- 3 免許人の氏名又は名称を証する書類
- 4 正確な時計

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

### 法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 特定の相手方に対して行われる無線通信
- 4 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信

〔8〕 船舶局に備え付けておかなければならない時計は、その時刻をどのように照合しておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 毎日1回以上中央標準時又は協定世界時に照合する。
- 2 毎月1回以上協定世界時に照合する。
- 3 毎週1回以上中央標準時に照合する。
- 4 運用開始前に中央標準時又は協定世界時に照合する。

〔9〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信することができない事由があるときに応答事項の次に送信することになっている事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 「お待ちください」及び通報を受信することができない理由
- 2 「どうぞ」及び通報を受信することができない理由
- 3 「お待ちください」及び分で表す概略の待つべき時間
- 4 「どうぞ」及び分で表す概略の待つべき時間

〔10〕 無線局が電波を発射して行う無線電話の機器の試験中、しばしば確かめなければならないことはどれか。次のうちから選べ。

- 1 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
- 2 空中線電力が許容値を超えていないかどうか。
- 3 「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出名称の送信が5秒間を超えていないかどうか。
- 4 その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。

〔11〕 156.8MHzの周波数の電波を使用することができないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 遭難通信を行う場合
- 2 安全通信（安全呼出しを除く。）を行う場合
- 3 緊急通信（医事通報に係るものにあつては、緊急呼出しに限る。）を行う場合
- 4 呼出し又は応答を行う場合

〔12〕 船舶局は、安全信号を受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 自局に関係のないことを確認するまでその安全通信を受信する。
- 2 自局に関係がないものであってもその安全通信が終了するまで受信する。
- 3 できる限りその安全通信が終了するまで受信する。
- 4 少なくとも2分間はその安全通信を受信する。